



4. 取り組みの結果

<オンデマンドの乗車風景>



<シャトルバスの乗車風景>



<企業バスの運行風景>



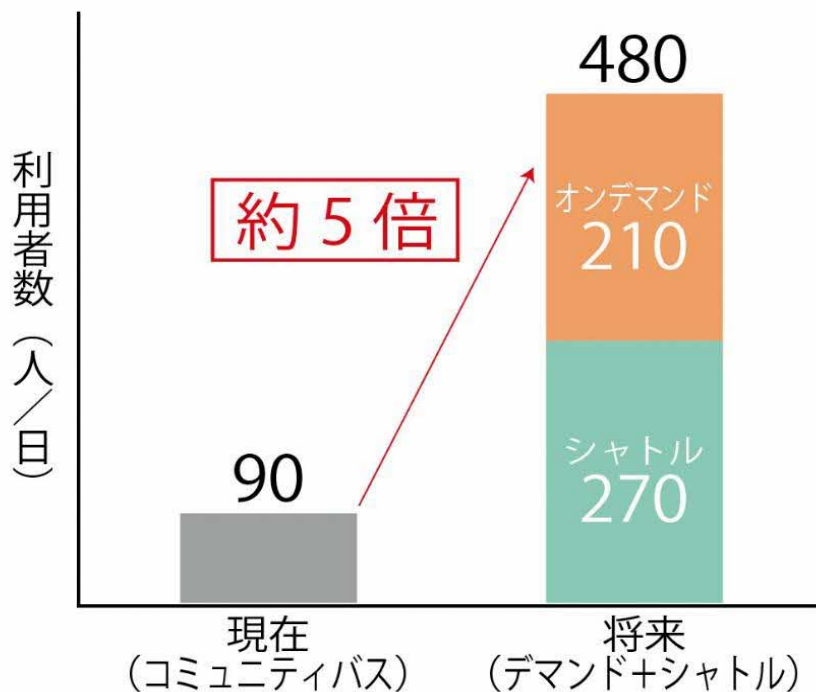
<通学バスの運行風景>



4. 取り組みの結果

チャレンジ1：移動の重ね掛け

- 今回の実証実験エリアでは**約500人**が利用！延べで**3,370回**、1日平均**約120回**の利用！
- **町内全域を対象とした場合、1日あたり約480回**の利用見込み！
現在運行している**コミュニティバスの約5倍**！
- 企業・学校側も公共交通との**一体運行に対して前向きな姿勢**



地域住民

30分に1本だととても使いやすい
(シャトルバス利用者)
今のバス停は少し遠くて買い物等は
家族に送迎してもらっているが、家
族に気負いせず外出できて嬉しい
(オンデマンド利用者)

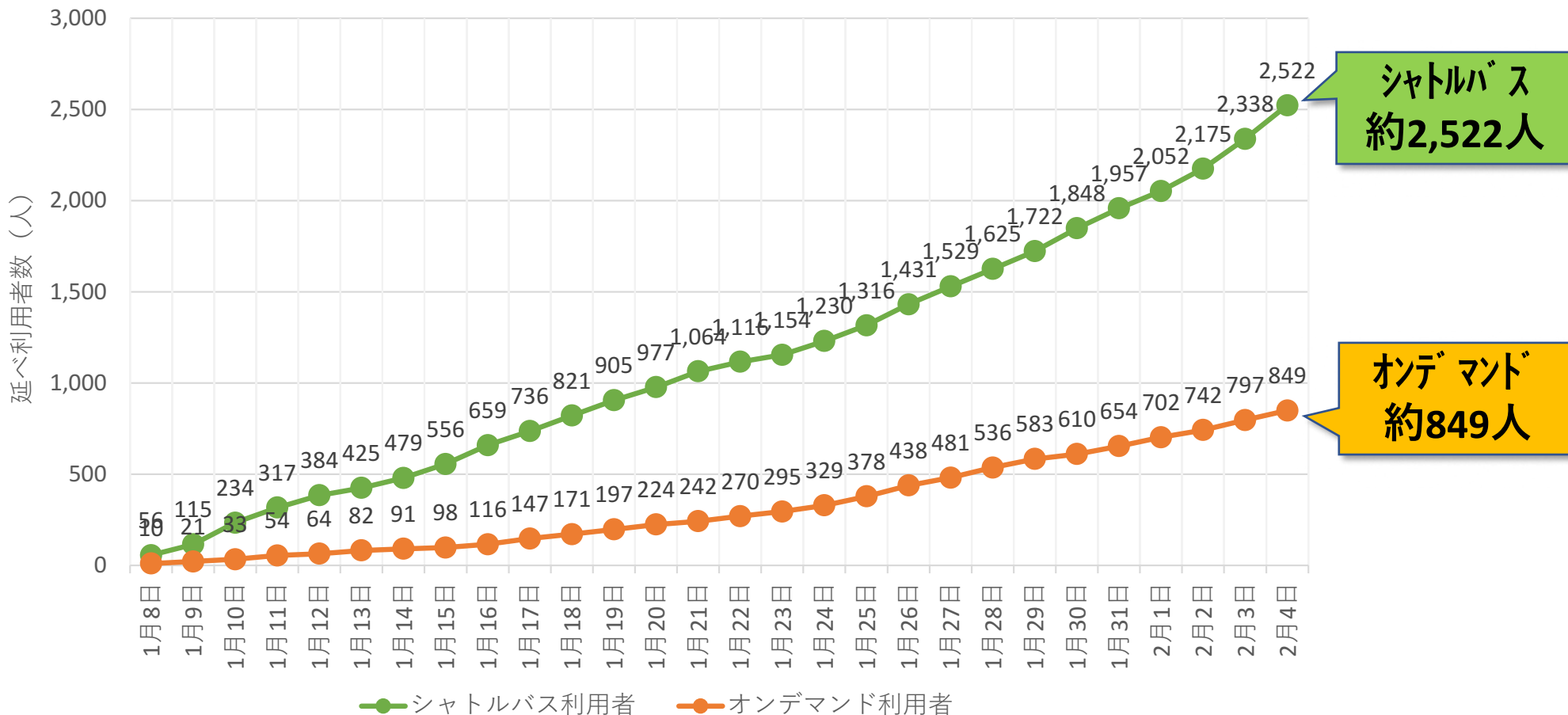


企業・学校

サービス性 (鉄道との乗り継ぎ利便
性) が維持され、少しでもコスト縮
減が図れるのであれば経営上も助か
るので前向きに検討していきたい

※将来利用者数は実証実験後に行ったアンケート結果 (課金時の利用意向や利用頻度) を基に試算

●延べ利用者数の推移



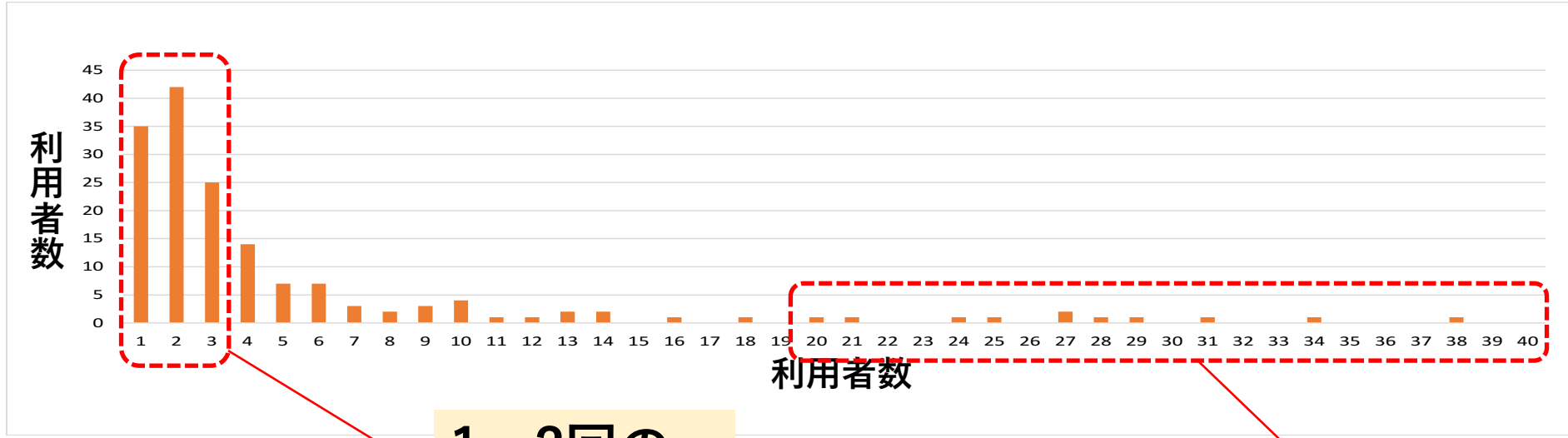
※実利用者

オンデマンド交通：約164人
 けやき通りシャトルバス：約415人

合計で約500人が利用

●利用状況

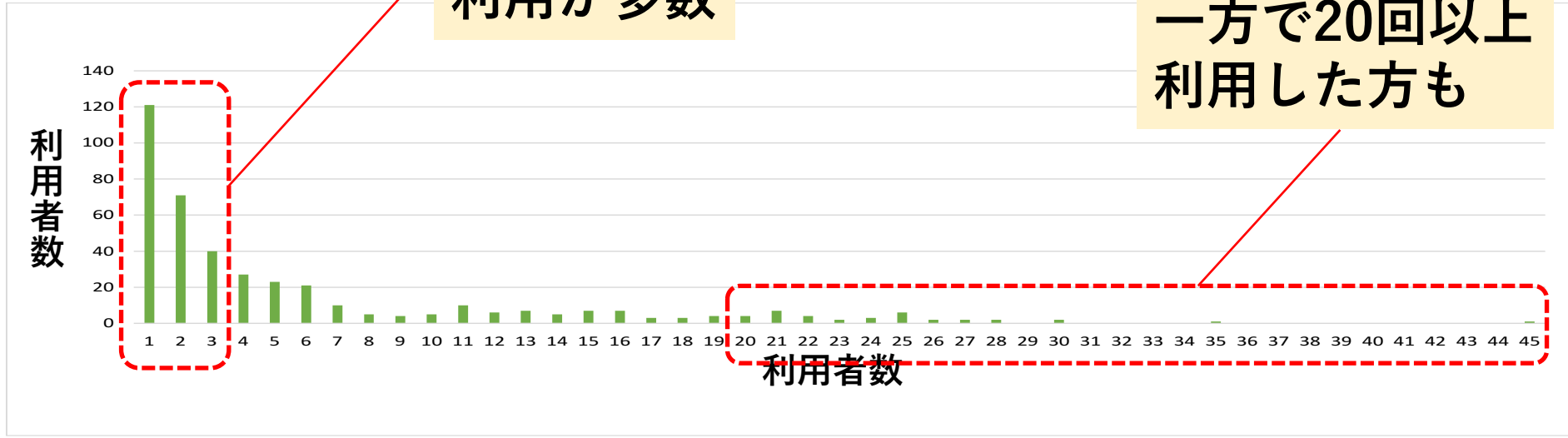
<オンデマンド>



1~2回の
利用が多数

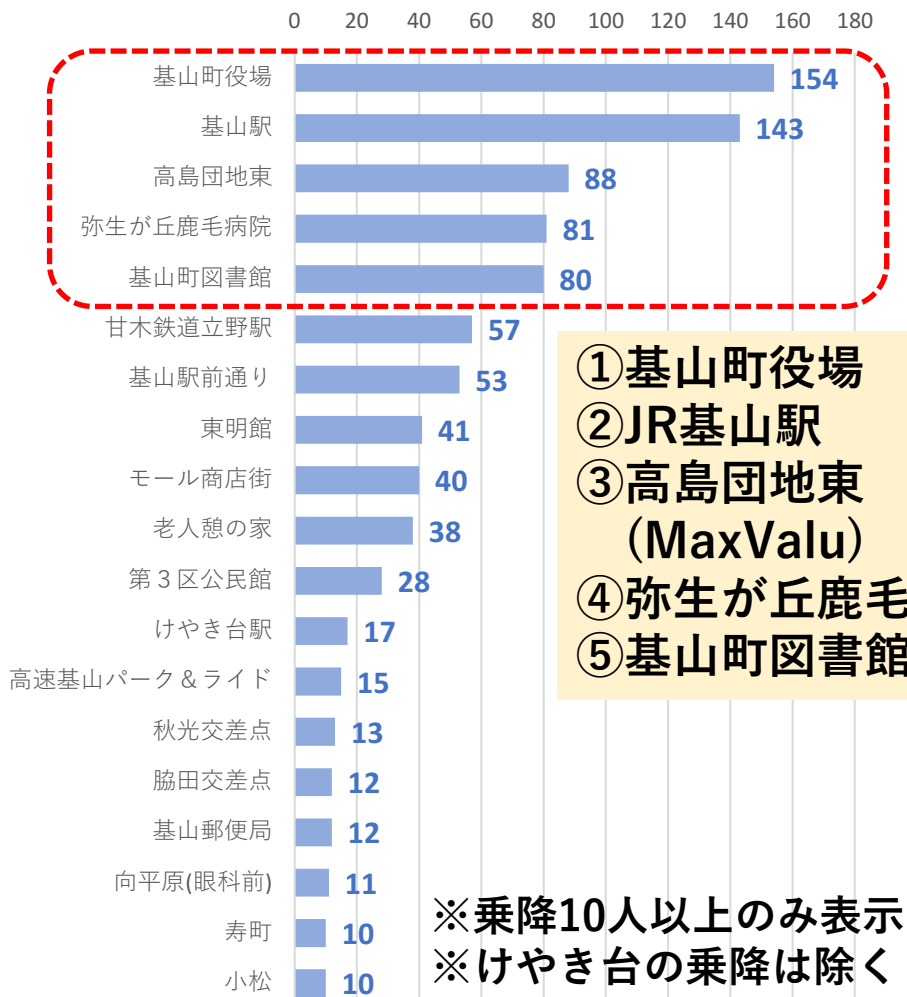
一方で20回以上
利用した方も

<シャトルバス>



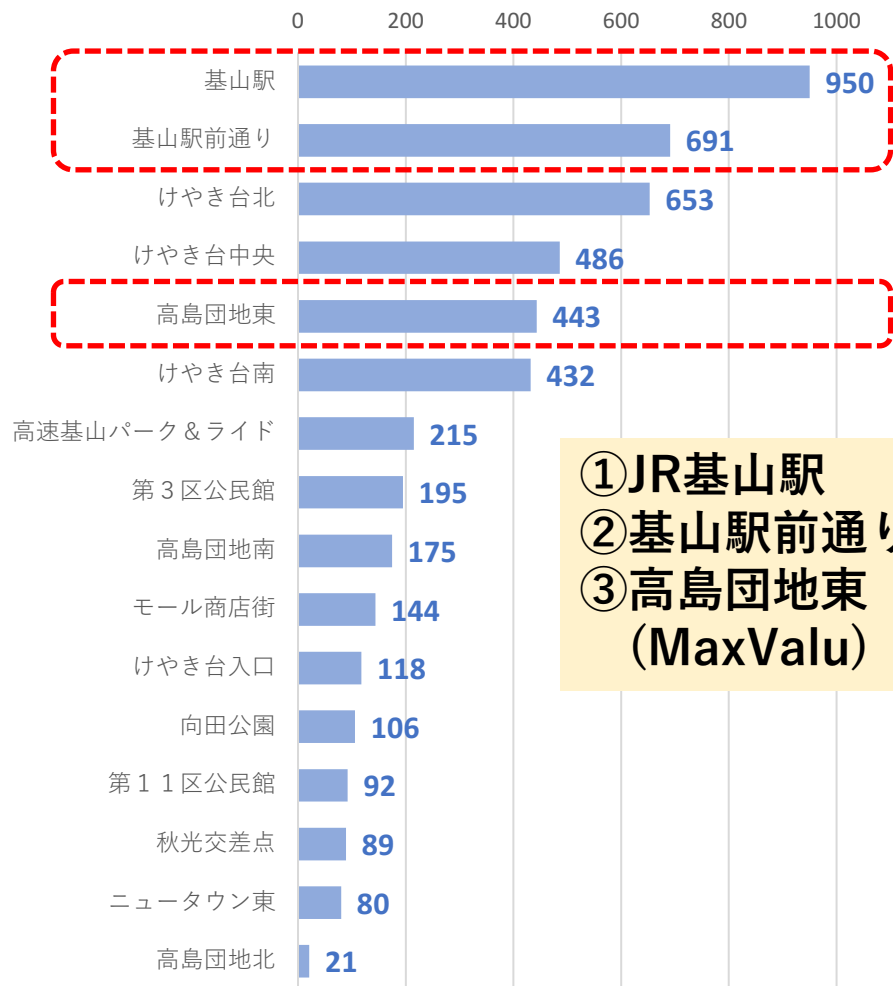
●乗降場所

<オンデマンド>



- ①基山町役場
- ②JR基山駅
- ③高島団地東 (MaxValu)
- ④弥生が丘鹿毛病院
- ⑤基山町図書館

<シャトルバス>

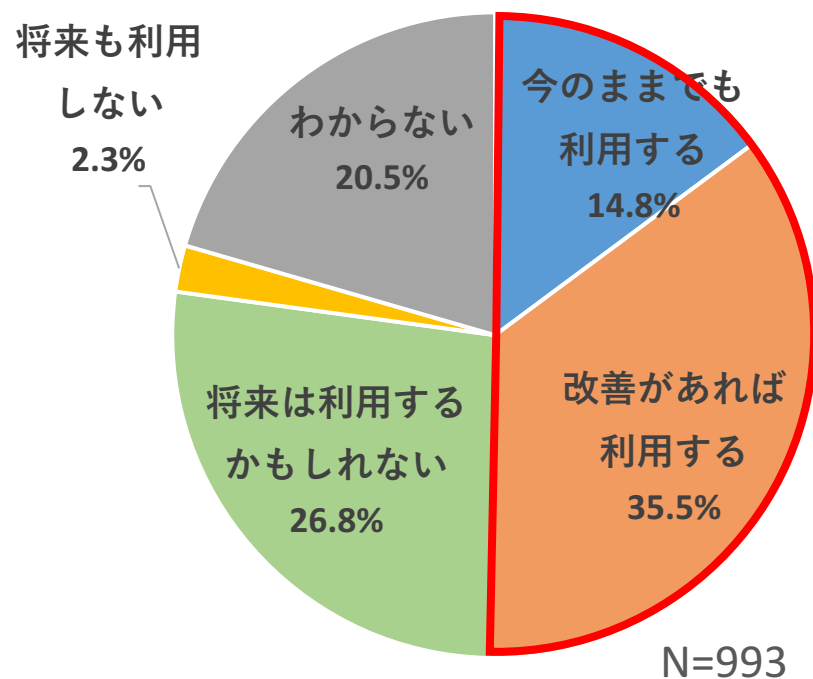


- ①JR基山駅
- ②基山駅前通り
- ③高島団地東 (MaxValu)

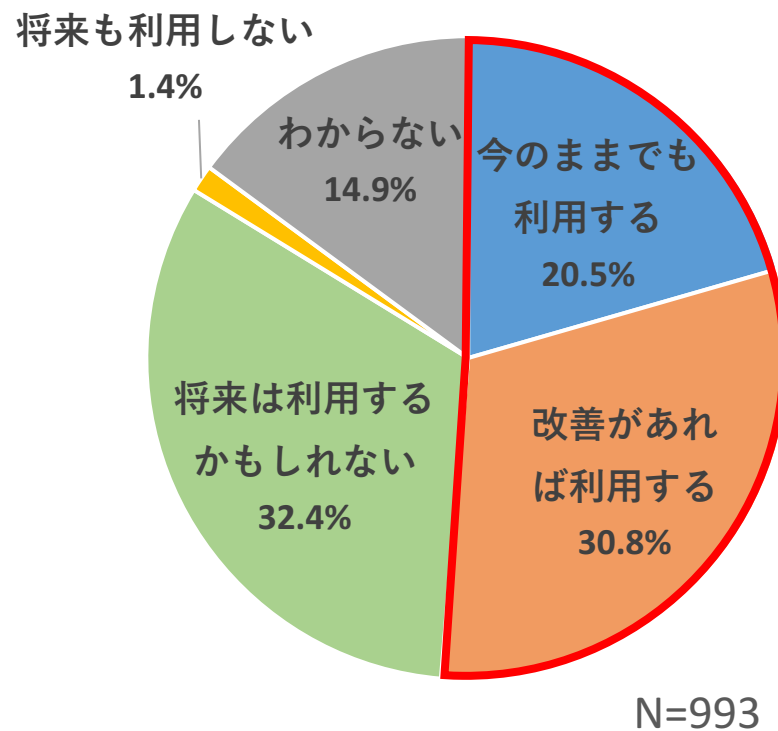
●利用意向（事後アンケートより）

サービス改善がなされれば利用率はともに約5割に

<オンデマンド>



<シャトルバス>

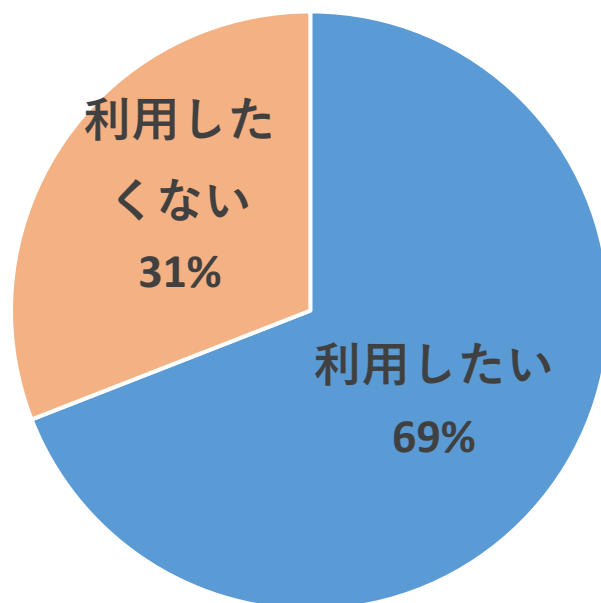


●利用意向（事後アンケートより）

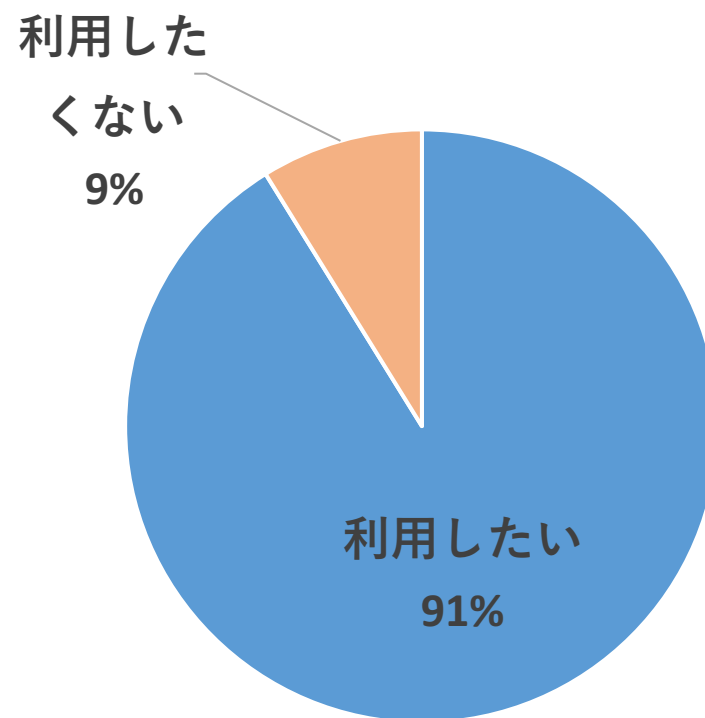
オンデマンド：300円/回で約7割

シャトルバス：100円/回で約9割

<オンデマンド>
300円/回の場合



<シャトルバス>
100円/回の場合



●利用者の皆様からのご意見・ご要望（事後アンケートより）

<オンデマンド>

	主なご意見・ご要望	対応の方向性
事前登録 予約	アプリでの事前登録や予約が複雑で分かりにくい	<ul style="list-style-type: none"> ・電話・FAXでの受付 ・配車システムやアプリの改良 ・勉強会・説明会の充実
	メールアドレスや迷惑メールの解除方法が分からない	
	同時に複数予約（往復など）できるようにしてほしい	
	満車で予約が取れない・予約可能な時間が分からない	<ul style="list-style-type: none"> ・オペレーション増強・車両数増加 ・アプリ予約推進・乗合率の向上 ・満空情報の提供
	電話が繋がりにくい	
運行 サービス	予約してもすぐに来ない（30分前予約）	<ul style="list-style-type: none"> ・運行ルールの周知・理解 ・運行サービスの改善
	予約時間に遅れても待っていてほしい	
	乗降場所をもっと施設の近くに	
	車両が狭く乗合時の抵抗が大きい	
	町外まで運行してほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接市との調整

●利用者の皆様からのご意見・ご要望（事後アンケートより）

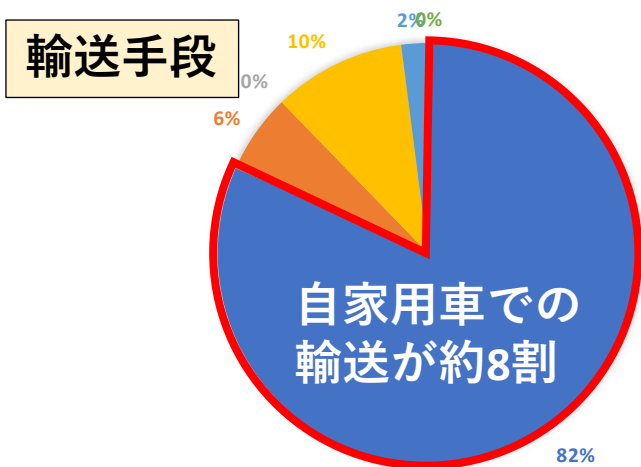
<シャトルバス>

	主なご意見・ご要望	対応の方向性
運行 サービス	高島団地⇒けやき台での乗り換えが不便	<ul style="list-style-type: none"> ・運行方法の再検討 ・運行サービスの改善
	外周道路（現コミュニティバスルート）も運行してほしい	
	停留所を増やしてほしい（役場・図書館・弥生が丘鹿毛病院）	
	停留所をもっと施設の近くに	
	車両をノンステップにしてほしい	
	町外まで運行してほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接市との調整

4. 取り組みの結果

チャレンジ2：貨客混載

- 農業生産者は主に自家用車で市場や店舗に出荷、約3割が輸送サービスの利用を希望！
- 高速バスを活用した貨客混載は、販路拡大、収益アップに期待！
店舗経営者や生産者のモチベーションも向上！



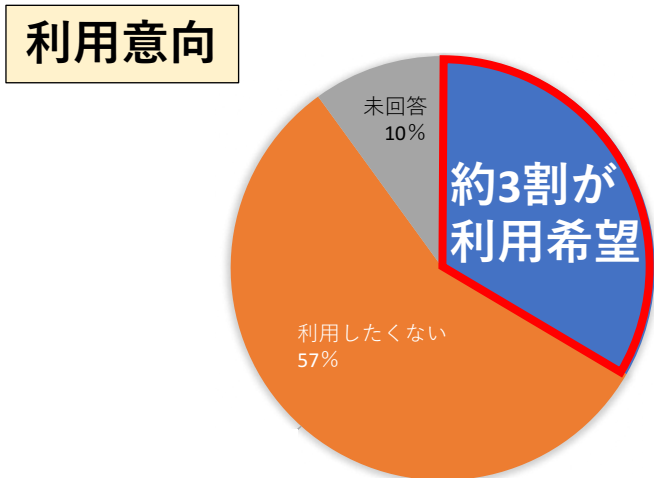
農業生産者

車が運転できなくなったら農業は辞めようと思っていたが、こんなサービスがあるなら今後も続けていけそう

都市部での販売により例年に比べ売上が上がった。低コストで輸送してもらえるので収益アップに繋がることを期待。



店舗経営者



農作物（オンデマンド）



特産品（高速バス）

- 店舗と連携した取り組み（ドリンク無料券配布）で**約70人がオンデマンドを使って初来店！**
- 無料ドリンク以外に**軽食などを注文、約1割がリピーターに！**
- **モビリティとのセットサービスで双方の収益アップ**に期待！
- **高齢者等の新たな外出機会・コミュニティの場**を創出！

「喫茶 千秀」 コーヒー1杯無料券

有効期限：2022年2月4日（金）

ご利用の際は、**オレンジ色の「乗車カード」**とともに店舗スタッフにお渡しください。
本無料券の使用は、けやき台にお住いの方
お1人様1回限りでお願いします。

主催：(株)福山コンサルタント



殆どが初めてのお客さんでお店を知ってもらえて非常に良かった。お客さんが増えるのも有り難いが、高齢者などのコミュニティの場になると嬉しい。是非連携して取り組んでいきたい。



4. 取り組みの結果

チャレンジ4：免許返納チャレンジ

- 座談会や免許返納疑似体験を通じて、**マイカーや公共交通に対する意識・関心**が向上！
- 約5割の人の**マイカー利用削減**が期待！

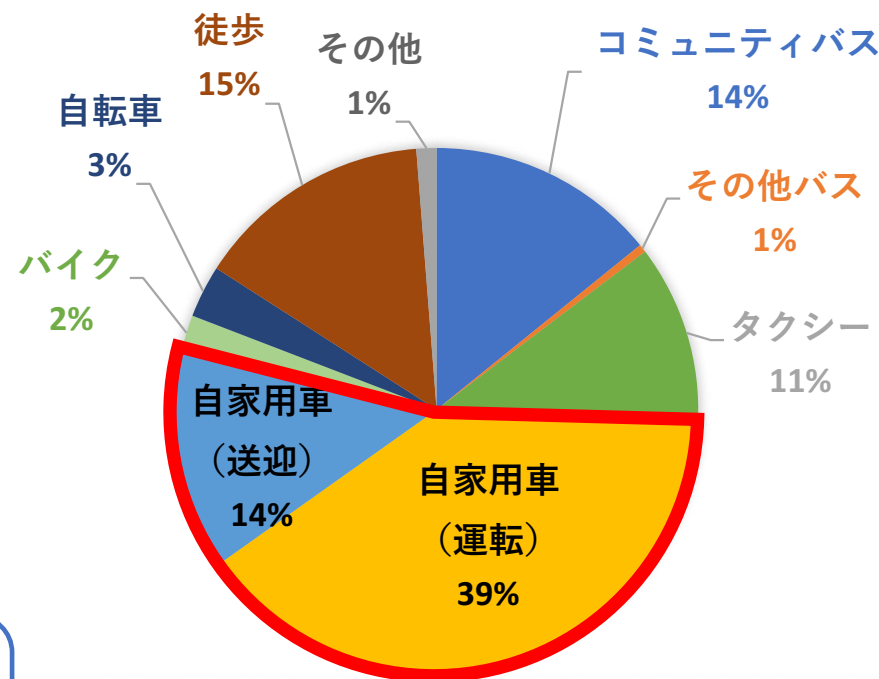
マイカーが無いと歩く距離は必然的に増えるので健康維持に繋がるし、何を買うか段取りも必要なのでボケ防止などにも繋がる



短い距離の移動でタクシーみたいな乗り物を呼ぶのは気が引ける

各自が免許返納の時期をイメージして生活していかないといけない

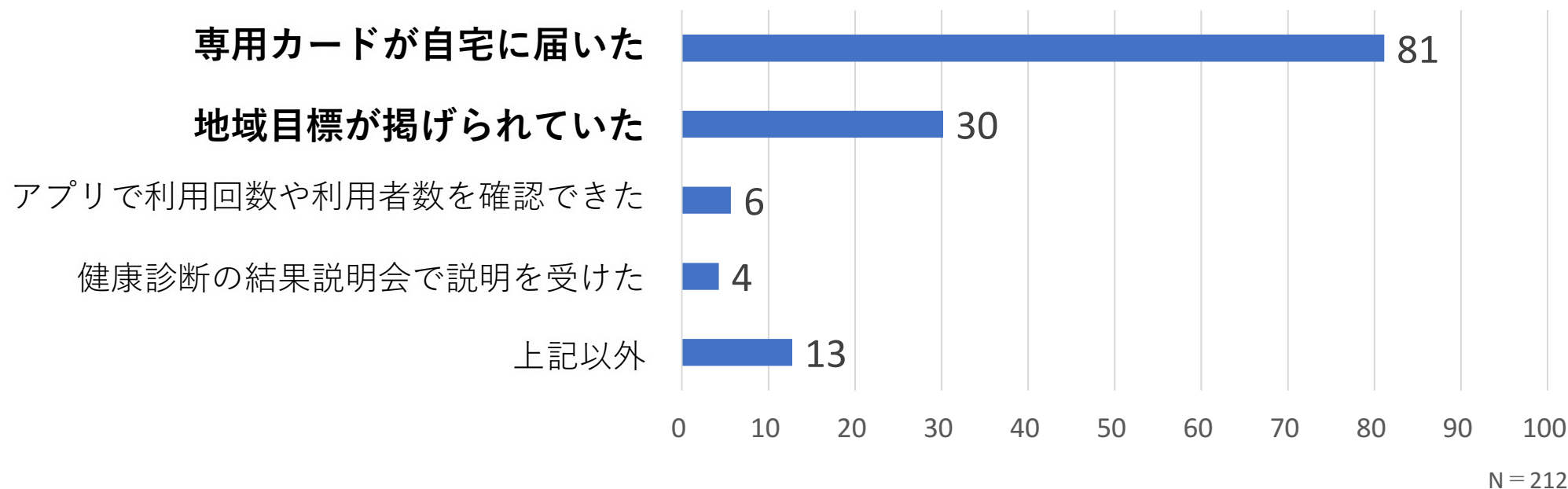
オンデマンドを利用したいと思っている人は今はどうやって移動してる？



半数以上はマイカーから転換？

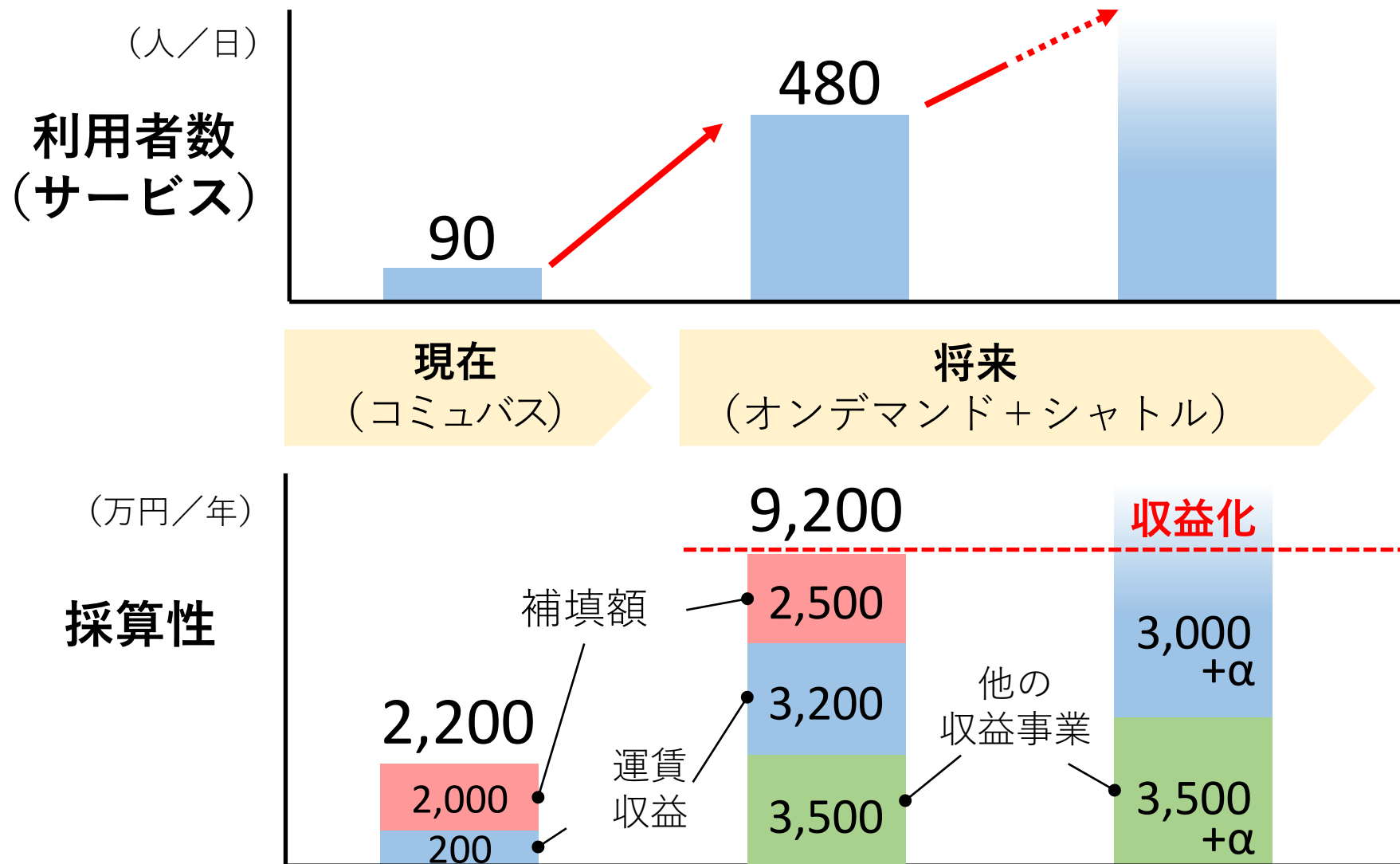
- **デフォルト設定**や**共通目標**を認知することが利用のきっかけに
- 公共交通分野においても**ナッジ施策の積極的活用**を！

今回の実証実験に参加したきっかけは？



4. 取り組みの結果

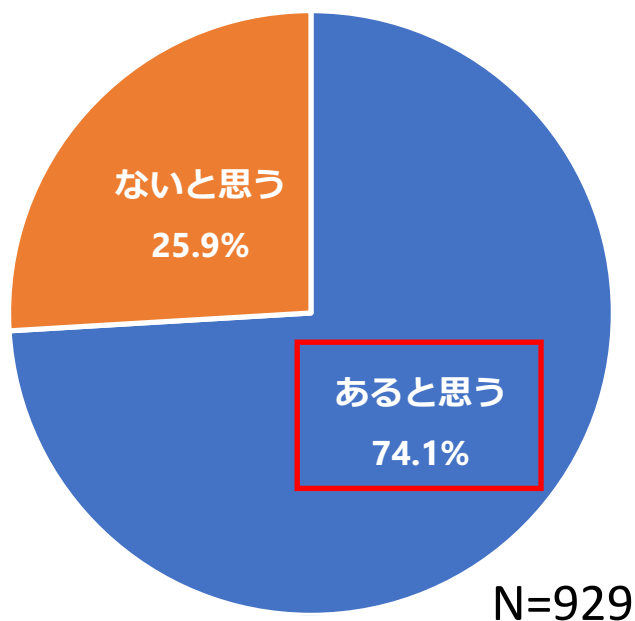
- 他の収益事業との一体的な経営・運営によって、公共交通サービスの向上と財政負担軽減の両立に期待



4. 取り組みの結果

- オンデマンド交通等の新たなモビリティを導入した場合の、**日常生活への影響の有無**を確認したところ、**7割強の住民が意識や行動に何らかの変化が生じる**と感じている。
- 特に「**運転機会の減少(44%)**」や「**町内店舗の利用(32%)**」、「**外出機会の向上(29%)**」といった意見が多数。

日常生活への影響の有無



具体的な意識・行動の変化と
想定される波及効果

意識・行動の変化	変化が生じる割合	想定される波及効果等
運転機会の減少	44%	免許返納の促進 高齢ドライバーの事故削減
町内店舗への来店機会増加	32%	町内消費の拡大 中心市街地の活性化
外出機会の増加	29%	歩行量も増加し健康的な生活 健康寿命の延伸⇒医療費削減

4. 取り組みの結果

- 「公共交通維持のために年間10回利用しますか？」の問いに対して、全体で約8割が賛同。
- 将来利用するかどうか分からない人も半数は賛同。
⇒ **社会貢献**や**将来への投資**を目的とした利用の可能性

